

地域とともに育てる豊っ子

鯖江市豊小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	2回
地域及び家庭への学校公開	4回(のべ) 7日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	123人
授業ボランティア(含:低ボラ)	147人
登下校支援ボランティア	128人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

具体的活動内容

①光道園との交流

平成19年度から、校区内にある盲重複障害者等の総合福祉施設「光道園」との交流学習に取り組んでいる。主に4年生の総合的な学習の時間に行っている点字学習や支援の仕方についての学習を生かして、入居者との交流を続けている。

また、「光道園」の創立記念祭には毎年5・6年生が、合唱のステージ発表を行っている。さらに、エスコートボランティアには児童約20名が参加し、教員も夏期休業中に買い物ボランティアを行っている。

②親子安全マップウォーキング

P T Aと協力して、子どもたちの登下校の安全確保のために昨年度から行われ、今年度で2回目である。各町内ごとに集合して、自分の町内や登下校中に通る「かけこみ110番の家」の位置や危険箇所を確認したり、ごみ拾いをしたりしながら、親子で1時間程度歩いた。子どもたちのなかには、「なにげなく歩いている通学路に、こんな危険なところがあったなんて、びっくりした。わかってよかった。また、なんてごみが多く落ちているんだろう。ごみを捨てないで欲しい。」という意見もあり、大変有意義なものとなっている。

③親子ふれあい活動

P T Aと協力して、今年度は、「親子でエコキャンドル作り」と「親子で体操」を企画した。家庭で使った廃油を利用して色づけを行い、キャンドルを作った。また、市の健康課健康づくりグループ理学療法士山本進先生をお招きして、タオルを使って、親子で健康体操を行った。日頃の運動不足が親の方にたたっていて、バテぎみだった。子どもたちは元気に最後まで頑張っていた。



成果と課題

- ・光道園との交流では、児童の思いやりの心を育てることができ、親子ふれあい活動では、資源の大切さや親子で体を動かし汗をかいて普段出来ない親子の会話が図られた。その活動の様子をホームページや学校便りで保護者や地域に発信し、理解を得ることができた。
- ・親子ふれあい活動での魅力ある、誰にでも楽しめる活動を企画するのが難しい。

写真貼り付け

・特色ある活動の場面

※圧縮して貼り付けてください。

※ HPに公開する予定ですので、個人情報等に配慮してください。